

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りーぶ		公表日 2025年 3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		死角になる戸はすべて外している。	職員の配置で死角を減らす。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		適切である。	職員配置場所を情報共有を実施
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		バリアフリー化ではないが、運動訓練として活用している。	常に職員の配置で環境を配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		掃除、換気、消毒等をし活動に合わせ配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンや相談室として1部屋を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		ロールプレイを実施し、目標設定と振り返りを実施している。	新規職員等がいる場合は再度研修をする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者等評価を含め、常に保護者と連絡、報告を受け業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎週、職員一同で意見交換や研修を実施し業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		行政機関や他事業所の研修や意見交換会に出席し業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		SST研修等を実施し外部研修の情報等も含め事業所内でも研修を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎年4月に年度プログラム予定表を保護者に配布し、1カ月の始まりの際も毎週の活動支援プログラムを配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児童、保護者等にアセスメントをして、目標設定を実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		事業所内にて個別のケース会議等を実施し、検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全職員に計画書を確認してもらって共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の適応行動等を支援記録等を確認しアセスメントを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		しっかりと1人1人の児童の5領域を狙いに入れ具体的かつ、わかりやすく支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員一同で実施している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		常に新しい活動や、応用編も含め工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別プログラムや集団プログラムを含め放課後等デイサービス計画を作成し、支援も実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日支援開始前に支援内容や役割分担の打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	7		支援終了後や翌日に打合せを実施し情報共有を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援を支援記録にまとめ職員間で情報共有を実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		決められた期間以外にもモニタリングを行い見直し等の判断をし実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		4つの基本活動以外も含め実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		二者択一（自己決定が難しい児童）	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者や管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		定期的な会議や打合せをし体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校お迎え時やケース会議等を行い情報共有を実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		保育所訪問を実施し、情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		障がい福祉サービス等に情報共有を実施している。	卒業生徒数が少ないので今後はもっと連携し情報共有を実施する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		事業所部会や地域の社会福祉事業団のスーパービジョンにも参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		他事業所と合同活動を実施している。	今後は児童館や放課後児童クラブとも関わりを増やす。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		SNSや電話等で情報共有を実施している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ペアトレーニングを実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約開始時や変更があった場合に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		低学年は保護者同伴で面談を実施している場合もある。 高学年は個別面談を実施している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		来所や訪問時に面談や助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	感染症が流行していたため実施していない。	今後感染症の様子を見ながら保護者会を実施していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		直ぐに訪問や連絡をし対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月に1度お便りを配布している。毎日連絡帳にて報告をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いについて職員一同留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		絵カードや気持ちかるた等を含め、実施している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		事業所の規模が小さいため招待はできないが、他事業のイベント等に参加している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		感染症外部研修受講や事業所内研修を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		消防署に協力して頂きながら消防訓練やAED訓練等をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		フェイスシートや保護者聞き取りにより予防接種歴等も含め確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者聞き取り調査で医療機関の指示に基づく対応をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		BCPや色々なマニュアルを確認し安全管理の下で支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット前に対策をし、ヒヤリハット時はすぐに再発防止に向け対策検討をしている。	事前に職員間で注意点等を共有していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止研修を外部や事業所内でも実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		保護者にアセスメントを行っていく中で説明をし放課後等デイサービス計画に記載している。	事業所内でも身体拘束等の事例検討会議等を増やす。	